

宗像市産業振興計画の策定について

1. 策定目的

宗像市の産業振興を実現することを目的に、今後5年間で本市が向かうべき方向性を明確にする

2. 計画期間

令和8年4月から令和13年3月（5カ年度）

3. 基本理念・方針（案）

▼基本理念（目指す将来像）

資源を活かし、新たな価値を創出するまち

▼基本方針（基本的考え方）

経済（域内でおカネをまわし、域外からおカネを稼ぐ）

社会（この地でヒトが、暮らし続け、新たに挑戦できる）

環境（自然と調和し、資源（モノ・コト）を守り育てる）

（新たな視点）

＋域内循環の更なる推進

＋事業再編と創業の好循環創出

＋循環型地域社会の形成

▼策定上のポイント（策定する上で特に重視する点）

本計画においては、市民をはじめ、消費者や産業団体等の関係者の意見や思いをベースとし、それぞれの「やってみたい」（情熱や新たな挑戦）を横断的に繋げ実現していく施策方針を策定する。

4. 計画の構成

- 
- （1）【位置づけ】策定の趣旨や計画の位置付け（総合計画との関連）
 - （2）【計画背景】前計画の取組状況や社会情勢の変化等の説明
 - （3）【基本方針】上記を踏まえた基本理念と方針
 - （4）【現状分析】分野別に現状を市民・事業者意見やデータから分析・整理
 - （5）【課題整理】現状から導き出される本市産業の取り組むべき課題を整理
 - （6）【施策方針】意見や上記課題に対応するための今後の産業施策の方向性を定める
 - （7）【取組内容】上記施策を実現するための事業・取組を具体的に記載
 - （8）【推進体制】施策を確実に推進するためのフォローアップ体制を整備
 - （9）【参考資料】市民等の意見集約結果、審議会の経過、その他関連資料

骨子案
ベース

5. 策定体制

<庁内体制>

部内チーム：各分野別に各係長をリーダーとした専門チーム編成

部門会議：産業振興担当部署における部長・課長・係長での協議・意見集約

庁議：市長、副市長及び全部長への連絡と庁内周知

＜審議会構成＞

商工会会長、観光協会会長、農業協同組合代表理事組合長、漁業協同組合代表理事組合長、道の駅むなかた代表取締役、消費生活センター相談員

＜市民協働手続き＞

- ・ 審議会
- ・ 市民説明会（ワークショップ）の開催

6. 策定スケジュール

- 10月下旬 第1回審議会（諮問、策定方針、意見集約報告等、計画骨子案）→策定の方向性確認
- 1月下旬 第2回審議会（計画案）→計画案に意見反映
- 3月上旬 第3回審議会（答申） →計画完成
- 3月下旬 庁議報告
- 4月初旬 議会連絡会報告 →広報へ